

【資料 8】 平常時の広場・市民活動交流拠点検討ワーキングチーム

■平常時の広場・市民等活動交流拠点検討ワーキングチームの目標

ワーキングチームの目標を下記に示す。

**平常時ワーキングチームの目標**

- ・ 庁舎エリアの広場及び市民等活動交流拠点の役割、導入機能、運営やルールなど、整備運営方針を示す
- ・ 上記の市側の受け皿（所管）の方向性や条例等の手続きについて方針を示す
- ・ 市民等が日常的に使いやすく、活発に、様々な交流が生まれるようなしくみやプロセスを示す

■ワーキングチームの構成員

ワーキングチームの構成員を下記に示す。

**平常時ワーキングチームの構成員**

企画課	1名	生涯学習新施設整備担当	1名
管財統計課	1名	都市政策課	1名
地域政策課	1名	地域整備課	1名
産業振興課	1名	道路公園課	1名
生涯学習課	2名	教育総務課	1名

■平常時ワーキングチームの最終成果物のイメージ

ワーキングチームの最終成果物のイメージとして下記に示す。

**平常時ワーキングチームの最終成果物**

- ・ **コンセプトの立案**  
→ 庁舎エリアの位置づけを明確化し、広場・市民等活動交流拠点のあり方や導入機能を示す
- ・ **広場及び交流拠点のゾーニング**  
→ 導入機能の配置、仕様等を具体化する
- ・ **運営管理方針の策定**  
→ 運営管理のための所管部署、広場条例、ルール等の方針を示す
- ・ **アクションプランの策定**  
→ 庁内・市民等への周知発信、活動主体の発掘・育成など、整備までのアクションプランを示す



ゾーニングのイメージ図



社会実験等による活動主体の育成

■平常時ワーキングチームの流れ

下記のスケジュールで平常時ワーキングチームを進めていく。全12回とし、令和6年度においては第5回コンセプトの詳細検討までを行う。現在3回目までを行った。



【各回の具体的な内容】

- 第2回 (2024年12月23日) : すでにある市民等活動や周辺まちづくりについて把握する
  - ・ 市民・企業・地域活動の調査 (活動団体、活動内容、頻度)
  - ・ 周辺施設の利用状況 (運動施設、文化施設等の利用率等)
  - ・ 地域文化や産業の調査 (地域文化、ものづくり、農業等)
  - ・ パークイノベーション計画
  - ・ 周辺まちづくり計画の調査 (官民連携まちづくり (門真市駅、古川橋駅周辺)、旧門真市立北小学校跡地周辺、門真市南東地域(北島西・北周辺)、大和田駅周辺)
  - ・ 広場等条例のリサーチ
- 第3回 (2025年1月22日) : 地元主体で公園を運営、活用する自治体の事例に学ぶ
  - ・ 公民連携により公園を運営管理していくプロセスや運営方法、体制
  - 下石井公園(岡山市)へのオンラインヒアリングを実施
- 第4回: 広場、市民等活動交流拠点のあり方
  - ・ 庁舎エリアの位置づけ (他の公共施設や周辺まちづくりとの役割分担)
  - ・ 使われ方のイメージや課題の抽出・整理(広場・交流拠点のあり方の検討、導入する機能)
  - ・ 「門真らしさ」のイメージ共有、コンセプト立案
- 第5回: 中間発表 (合同ワーキング)
- 第6回: 広場及び交流拠点のゾーニング
  - ・ シーバspark視察 (市民活動を活発化する愛着の湧く公園づくりの事例を学ぶ)
  - ・ 導入機能の配置及び仕様等の具体的検討
- 第7・8回: 運営・管理について考える
  - ・ 広場、交流拠点のしくみ、ルール
  - ・ 市民の巻き込み方、周知など、整備までのプロセス



岡山市 下石井公園



泉大津市 シーバspark



ワーキングチームの様子

■市民・企業・地域活動の調査

課題：担い手の不足、活動主体の創出

【地域団体について】

- ・会議や活動場所は市民プラザや各中学校区の自治会施設、また市役所等を利用
- ・地域会議：地域課題を解決するための団体。市が組成促し。実態としてはイベント企画が多い。
- ・地域会議の「地域の課題」は、担い手不足、新しい活動に対する熱量の差（休日活動が多いため）等

○自治会 … 118団体

【活動内容】

- ・歳末特別警戒
- ・敬老祝い
- ・清掃活動
- ・グラウンドゴルフ
- ・防災訓練
- ・世代間交流
- ・防犯灯管理
- ・廃品回収
- ・たんじり巡行
- ・盆踊り
- ・もちつき大会
- ・各種募金活動
- ・アドプト活動

○地域会議 … 6団体

【活動内容】

- ・夜間パトロール
- ・音楽とエコキャンドル
- ・グラウンドゴルフ
- ・ふれあいウォーキング
- ・子育てサロン
- ・子ども料理教室
- ・舞台鑑賞
- ・植栽活動
- ・陶芸教室
- ・まつり
- ・広報紙発行
- ・しめ縄・リース作り
- ・れんこん掘り
- ・防災講話

○NPO団体 … 28団体

※門真市内に事務所をもつ団体

【活動内容】

各団体が定款で定める事業

【祭りについて】

ふるさと門真まつり

模擬店・PRブース出店者数  
61店舗 (R6)、67店舗 (R5)  
実行委員会参加団体数  
23団体 (R6)、25団体 (R5)



- ・60~70店出店ができる広場空間
- ・メインとなる櫓、盆踊り会場

校区門真まつり

- ・小学校区単位で開催するまつり  
実施：6校区 (R6)、7校区 (R5)
- ・各小学校のグラウンドや体育館で開催されている。

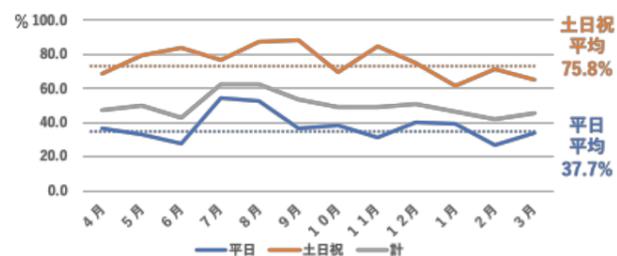
■周辺施設の利用状況

課題：スポーツ機能、公共施設との役割分担、庁舎エリアの集客

【運動場利用】

- ・旧第六中学校運動場は一部借地のため、将来的には返地の予定。
- ・現状の稼働率は、土日祝は非常に高い。年間利用者3.5万人。
- ・市内には他に2グラウンドあるが、いずれも土日の稼働率は非常に高い。
- ・北島に代替機能が移転予定であるが、国道163号北にはグラウンドがなくなってしまう。
- ・利用方法は野球 (57%) サッカー (31%) が多い。
- ・午前中は年配(グラウンドゴルフ利用)、夕方~20時頃までは子供の団体、以降は22時までには大人の利用が多い。

旧第六中学校運動場稼働率 (R5)



【公共施設の稼働率 (文化系)】

- ・公民館はその一部機能を周辺施設へ集約化・施設の廃止等も含めた今後の方向性を検討。
- ・公民館同程度の集会室 (ホール) は不足。また小規模な室内スポーツ利用が可能な施設の需要がある。
- ・公民館の児童室の稼働率は高く、子供向けの機能の需要も見込まれる。
- ・会議室・講義室の稼働率も一定みられるため、多用途に利用可能な50㎡程度の諸室も必要あり。

施設名	室名	面積 (㎡)	稼働率 (%)	収容人数 (名)
門真市立 公民館	集会室	233	69.7	300
	児童室	23	91.6	18
	料理教室	56	18.1	30
	第1会議室	46	55.6	30
	第2会議室	23	44.9	18
	講義室	57	46.1	45
生涯学習 複合施設	2F小ホール	168	-	108名
	3Fプレイスペース	168	-	-
	1F多目的室(キッチン)	76	-	27名
	2F多目的室①	46.2	-	27名
	2F多目的室②	58	-	36名
	2F多目的室③	58	-	36名

集会室・ホール：舞踊・ダンス、体操・ヨガ、音楽などが中心  
会議室・講義室：会議室の広さ等によって様々な活動に活用

■パークイノベーション計画

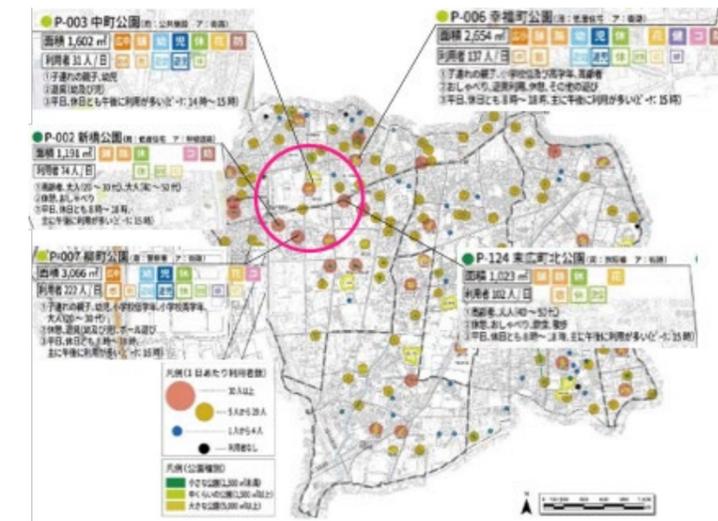
課題：既存の公園利用とのすみわけ、公園ニーズの反映

【利用状況】

- ・庁舎エリア周辺 (500m圏内) の公園は、1,000㎡以上の公園は利用者が30人/日以上、はすはな中校区より第三中学校区の方が利用者30人以上の公園が多い傾向。
- ・主な利用者は、子連れの親子、小学生低及び高学年、高齢者が中心。

【子どもアンケート】

- ・ボール遊びやバスケットボールやテニスなど体を動かす遊びへのニーズが高く、遊具遊びだけではない多様な遊びの場へのニーズが高い。



公園でやってみたいと思うこと

- 小2：遊具遊び (75%)、クライミング (58%)、スケートボード等 (51%)
- 小5：遊具遊び (60%)、クライミング (54%)、ボール遊び (52%)
- 中2：バスケットボールやテニス (58%)、ボール遊び (52%)、おしゃべり (54%)

■周辺まちづくり計画の調査

課題：周辺まちづくり、公共施設との役割分担

- ・庁舎エリア周辺及び北島西・北周辺のまちづくりの方向性について共有
- ・それぞれのエリアに広場、活動交流機能等が予定されており、エリアビジョンや方向性に基づいて、機能・役割分担が必要。
- ・松下記念病院との連携なども病院側と今後検討 (施設間の動線、市民活動等の発信、健康・医療分野での連携等)

